

保育おおさか

No. 473

平成 27 年 1 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/>



あけまして 2015 年
おめでとうございます



写真：交野保育園、四条保育園、くずは光の子保育園、ギンガ保育園

社会へのさらなる貢献に向けて 人に優しい街づくりに寄与

保育部会長 永野 治男



府内では初年度の移行が2割程度。これは市町村の説明不足と新制度への不安に加え、現時点で多くの待機児童を抱えていることも大きな要因。

4月から新制度がスタートします。児童福祉法制定より、70年近く、保育に欠ける乳幼児の保育（養護と教育）を担ってきましたが、新制度では、学校教育を行う幼保連携型認定こども園が誕生します。

られる形となり、将来、一本化が迫られます。

移行初年度は多少の混乱が予想されますが、「山よりデッカイ獅子は出る」。我々以上に変なものは市町村行政でしょう。ひっくり返っているようです。

12月の総選挙も安倍さんの信任投票で、我々が不安を感じた新制度にも自民党は、公示前に「子育て施策は計画どおり実施する」と示しました。昨年末から各ブロックに参上し、お願いしております「オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業」への協力であり

ます。社会福祉法人のあり方が揶揄される中、創設当時の想いを持ち続けるなら、いかに社会へのさらなる貢献ができるか。

スマイルサポーター養成も8年目を迎える中、大阪として他府県にない、人に優しい街づくりに寄与したいと存じます。

さて、部会の会員は、従来、公益法人などが運営する民間の認可保育園でしたが、認定こども園に移行する園もあり、今月開催の総会で会則の変更をお願いすることとしています。結びに総会の出席をお願いして、新年のご挨拶といたします。

子育てを大阪全体で支える社会づくりを

大阪府福祉部子ども室 室長 三ツ石 浩幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、大阪府社会福祉協議会保育部会の皆様方には、本府保育行政のみならず、児童福祉行政全般の推進に御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、いよいよ本年4月から子ども・子育て支援新制度が本格的に動き出します。皆様方には新制度に向けた準備にさまざまなご尽力いただいているところと存じます。

大阪府におきましては、大阪府子ども施策審議会において、保育部会からもご参画を仰いで

ご議論いただいている「大阪府子ども総合計画（仮称）」を本年3月末までに策定し、本計画のもと、次代を担う宝である子どもを育む家庭を支援し、家庭への支援が子どもの成長・自立につながるような取り組みを力強く推進してまいります。今後とも、子育てを大阪全体で支える社会づくりを目指して参りますので、皆様方の一層のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

保育部会の皆様方の本年のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

よりよい保育の実現を目指して

大阪府福祉部子ども室子育て支援課 課長 森田 正典

新年あけましておめでとうございます。

大阪府におきましては、これまでも、保育部会の皆様方のご協力を得て、保育の量的拡大と質の向上など保育の充実に取り組んでまいりました。引き続き、国の動向を確実に把握し、本年4月から本格施行される子ども・子育て支援新制度の円滑な実施のために、より一層、市町

村と連携して取り組みを進めて参ります。

今後とも、皆様方と手を携え、子どもたちや保護者にとってよりよい保育の実現のため努めてまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

本年が皆様方にとって実り多い年となりますことを祈念いたします。



子どもたちが健やかに育てるよう 笑顔大切に

大阪府保育士会長 高田 テルミ

新年あけましておめでとうございます。

本年も大阪府保育士会をどうぞよろしくお願いいたします。昨年も、園長先生方のご理解とご協力で保育士をはじめ、多くの関係する方々に保育士会主催行事にご参加いただいたこと厚く御礼申

しあげます。

さて、4月から新制度が施行されますが、私たちはさまざまな変化・制度改正に対応しながら、子どもたちが園で安全に健やかで、元氣よく育つ環境を作り、子どもたちの幸せのためにその環境を守っていくことが努めだと思っています。

保育士会といたしましては、子どもたちの健全

な育成が園のみならず地域においても行われるよう、保育士が日々研鑽できる場、機会を提供してまいります。

子どもたちが笑顔でいるには近くにいる私たちの笑顔が大切です。会員の皆さまと子どもたちとの関わりの中に笑顔が多い1年であることを祈りつつ、新年のあいさつとさせていただきます。

新しいステージへ、プライドをもって飛躍を

北摂ブロック保育部会 武内 慎吾

各市の地方版子ども子育て会議では、保育必要量の見込みが現状を大きく上回り、いかに供給するのかが議論の的になっています。地域ごとに必要量の多少が顕著であり、大阪府内においてはなおのことでしょう。各市の独自性が進むなか、子育て行政の格差が起らないとも限りません。北摂ブロックでは子ども子育て会議の報告会

を開催し、行政へ働きかけを行っております。子どもの他者との共生

へ心を育んでいく人格形成の礎を培う場であることに変わりありません。今まで培ってきた保育のプライドをもって、新しいステージで飛躍できればと考えております。

まちの将来をとともに作りあげる姿勢で

北大阪ブロック会 東口 房正

新年を迎え、ひとことごあいさつ申しあげます。消費税の増税が一年半先送りにはなりましたが、今年からは政権与党が益々勢いを増し、子育て政策にも財源を注いでくれるという期待と、認定

子ども園がどのように展開されていくのか、楽しみでもあり不安でもあります。

一方で人口減少による自治体消滅の危機に対して、若年世代に子育てしやすい「まち」をアピール

移行の有無にかかわらず、変わらぬ保育の提供を

河内ブロック会 浅井 孝男

子ども・子育て支援新制度も今年本格的にスタートし、保護者の方には「施設型給付費・地域型保育給付費支給認定証」という書類が増えました。

「昨年からありましたか？」移行しない園では関係ないですか？」という問いかけもあり、制度

があまり理解されていないように感じています。いわゆる待機児童も出

していくしかありません。春の統一地方選においても、人口増に向けての子ども施策が争点になるものと思われま

す。「まち」の将来と「まち」づくりを行政とともに作りあげる姿勢をもって、ブロック活動にご協力とご支援を賜りますようお願い申しあげま

す。てくると考えられ、保護者から不満の声もあがってくるのではと心配です。

まだまだ、先が見えませんが、認定こども園へ移行される園も保育園として続けられる園も、変わらぬ保育の提供を果たさなければと思います。



ブロック長からの年賀状



心身をリセットし、新たな一年を

南大阪ブロック民間保育園連盟 中島 一

今年の元旦は、熊野からのスタートです。例年は、3日から4日に行く熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）への初詣ですが、今年は初めて元旦

にお参りできることになりました。『新たな自分自身の出発を熊野で祈りて光輝く』という言葉を胸に。この地には小栗判官がその薬効で蘇ったといわ

子ども・子育て支援新制度スタートに向けて

堺市民間保育園連盟 池尾 弘久

2010年頃「幼保一元化」の具体的な話が国で話しあわれ、民主党政権になり「幼保一体化」と名称が変わりました。引き続き幼保の話は続けられ、政権が自民党に戻って、より具体的とな

り今年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートします。これにより私たちは、認定こども園制度に移行する園、保育所に留まる園と二極化していきますが、国の制度が変わって

地域のみなさまに信頼される法人・施設に

泉州民間保育園協議会 田中 正清

いよいよ本年4月から認定こども園がスタートします。消費増税が1年半先延ばしされ、施設型給付費も満額もらえるのが早くて2年先の見込みとな

り、移行を先延ばしされる保育園もあろうかと思えます。早急な財源の確保を願うところであります。また、「オール大阪の社会福祉法人による社会貢

れる湯の峰温泉「つば湯」もありその昔「蟻の熊野詣」といわれ皇族から庶民までが熊野に惹かれた独特の空気感があります。心身をリセットし、新たな一歩を踏み出します。今年も一年よろしくお願

いいたします。も、保育を必要としている子どもたちはなくなりません。

私たちの仕事は、世の中に必要とされています。

今年度も、地域で子どもたちの保護者から信頼される園になるために頑張ります。

献事業（仮称）も始まります。できるだけ多くの保育園に参加していただきたいと考えています。

新年の初めにあたって原点に立ちかえり、地域の皆さまや子どもたちのためにしっかりと保育を行い、信頼される法人・施設にならま

子どもたちの 今と未来を豊かに

「あそびと学び」、ありのままの
姿を引き出せる環境づくり

摂津市 みなみせんりおか保育園

社 会福祉法人桃林会・
みなみせんりおか保
育園は、阪急摂津市駅前の
南千里丘地区に平成26年8
月に誕生した定員90人の保
育園です。

建物はマンションのモデ
ルルームとして利用され
た、延床約747㎡の鉄骨
造3階建。1階は玄関と駐
車場、2階部分を保育園と
して改修。3階には商工会
議所などがあります。園庭
は建物の西側に約400㎡
のデッキを増設。天然芝で
緑化し、築山もある立派な
園庭です。

保育理念は、「子どもたち
の今と未来を豊かに」。



木製の遊具でたくさん遊びます

子ども時代の体験や心の
もち方が、人生の礎となる
ことを保育者が強く意識
し、やさしさや頑張る気持
ちを伝えることで、子ども
たちの今と未来を豊かにし
たいと考えておられます。

また、社会に根ざした、
たくましい子に育てること
を重視されています。

保育に「あそびと学び」
を豊富に取り入れ、保育者・
友達・自然や伝統行事との
豊かなふれあいを通して、子
どもたちのありのままの姿
を引き出せる環境づくりを
大切にされています。

園内は部屋全体に自然光
が取り入れられ、とても明
るいです。たてわり保育が
進めやすいよう部屋の空間
も配慮されています。

驚きは、なんとといっても
保育園の真ん中の子ども目
線のオープントイレ。幼児



0・1歳保育室

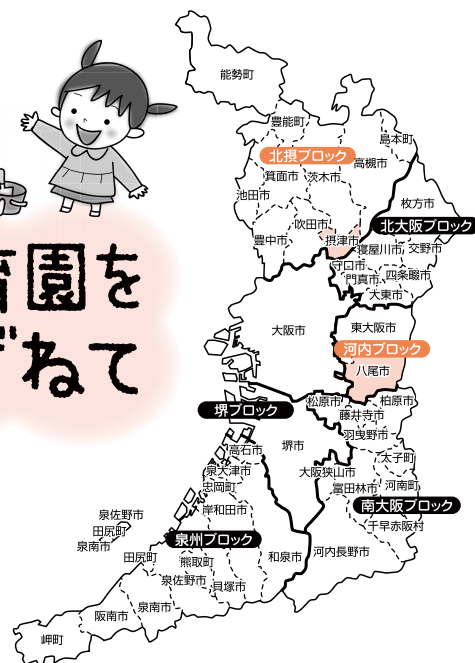
(編集委員M・H)

クラスの部屋から遊戯室か
ら玄関からとアクセス拔
群。ほかに、0・1歳児の
保育室の調乳室も家庭的な
キッチンコンセプトにさ
れており、お家のダイニン
グとリビングにいるような
居心地でした。



保育園を
たずねて

508



ゆ

う安中東保育園はJ
R大和路線八尾駅から
徒歩で15分。平成18年に
八尾市で初めての民営化園
としてスタート。翌年には
14台分の駐車場を整備。平
成23年に大規模改修に取り
組まれました。

定員135人で、移管時
児童数は97人でしたが、現
在は150人を超える園児
が在籍しています。

外国語圏のご家庭が多
く、130家庭中、ベトナ
ム語と中国語、韓国語の27
家庭が在籍。開園当初はポ
ルトガル語圏の方も入園さ
れ、通訳探しに奔走されま

した。



アットホームな中にも真剣な表情の役員会議

現在も中国語・ベトナム
語の留学生通訳が活躍中
で、おかげで子どもたちも
言葉や園生活に不自由を感
じることはほとんどないと
のこと。

活動周知のポスティング
などにより、近隣住民や周
辺10施設との関係も良好
で、毎月定例の施設長連絡
会議にも参画し、連携と支
援体制強化への取り組みを
促進中です。昨年2月には
2度目の第三者評価受審を
され、園の活動レベルアッ
プに積極的に取り組んでお
られます。

法人の理念により開園当
初からPTAが発足。保護
者とのスムーズな連携が培
われ、歴代役員も園と保護
者のパイプ役、子育ての良



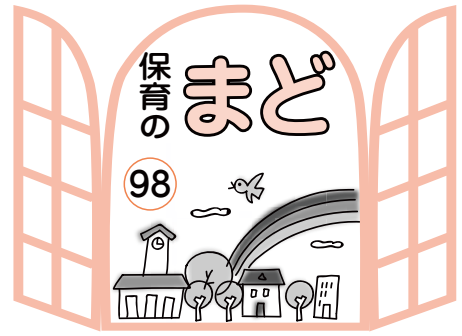
PTA主催ポーセラーツ制作

(編集委員C・T)

次年度から認定こども園
に移行しますが、内容整備
職員と保護者理解を図りな
がら、これからも一層地域
に役立つ園活動をめざした
いと、重谷重大園長は熱く
語られました。

地域と連携し
必要とされる園活動へ
外国語圏の子どもも
快適な園生活

八尾市 ゆう安中東保育園



シリーズ●災害に備える取り組み

保育園での「備え」と地域への貢献を考える

編集委員座談会

4回にわたり、「災害に備える取り組み」について連載してきました。「備蓄の準備」、「代替えの熱源準備」、「自分の居住地の避難場所」など災害への備えについての意識の低さがアンケート結果として出ました。保育園としてはどのような備えがしてあり、地域の一員としてどのような取り組みをしていけるかなどをテーマに、編集委員による座談会を行いました。

●備蓄の準備をしていない人が調査した人のうち半数以上であったが、保育園では、災害用に食料を備蓄していますか

●水は10t確保してあります。食料は米を備蓄しています。

●飲料水は500mlのペットボトルを園児と職員用で200本用意。食料は豚汁、

か検討しています。

●1週間分の食料を備蓄することを推奨されていますが、保管場所などスペースを考えると2、3日分しか備蓄ができていません。

●代替の熱源はどのようなものを用意していますか

●木材を用意しています。U字溝を使って飯ごう炊さんをしたこともあります。

●代替の熱源はプロパンガス、発電機を用意しています。

●薪を用意しています。キャンプファイヤーや、焼き芋をする時に使ったりもします。カセットコンロで発電する発電機も準備しています。1本のガスボンベで約2時間使用でき、20本備蓄しています。

●保育園の開園中に災害が起こった際の避難場所、避難方法などはどうしていますか

●指定避難所の小学校までに川があり、津波などの際は小学校へ避難するより保育園で待機している方が安全だと思っています。窓を飛散防止、強化ガラスにしており、建て替えを行ったので耐震性も強化しています。

●基本は保育園で待機するが、小学校への避難訓練も実施しています。保護者へは、地域の避難場所が保育園で待機していることを事前に周知してあります。

●今後保育園としてどのような取り組みがしていけるでしょうか

●地域の防災訓練への参加や、地域貢献の一環として同じ市で社会福祉法人が運営している施設と連携を取っていくことも大切なことだと思っています。

●近年、大阪では大きな災害が起きていないため、防災意識が低下しています。保育園からも園だよりなどを使って保護者や地域に向けて啓発していくことが必要だと感じています。

●保護者との懇談会で防災、災害時の対応などを確認しておくことも重要なことだと思っています。

●女性が多い職場であることや職員が怪我をした時のことを考えると、地域の方々にお手伝いをしていただけるように日ごろからのコミュニケーション、共同での防災は大切なことだと思っています。

スマイルサポーター フォローアップ研修会 開催について

泉州ブロック

日時：1月31日(土)
14時～16時

会場：泉の森ホール
大会議室

他ブロックからご参加を希望される方、研修内容を知りたい方は事務局までお問い合わせください。



▲おおわだ保育園
馬場さん

へちまの写真をたくさんお送りいただき、ありがとうございます。その中から特に大きく育った写真を掲載致します。

▼摂津ひかり保育園
日野さん



11月に槇塚台保育園にて介入り講習が行われました。もち米を漬すことや介入りすることの難しさに驚きでした！参加者とお餅を美味しくいただきました。



▲参加者の浦室保育園・矢野さん

ブロックだより

OSAKA

北摂

危機管理を講演で学び バレーボールで懇親

平成26年11月25日千里阪急ホテルで、年末研修会・懇親会を開催しました。各市町村の関係者を含む162人の参加者があり、猪熊弘子氏（ジャーナリスト・

東京都市大学客員准教授）をお迎えし、「保育園における危機管理・子どもの命を守る保育のあり方について考える」をテーマに講演いただきました。重要なことは、子どもの安全についての「知識」を得ること、事故の「統計」をとって「分析」すること、自園での危険を「把握」すること、職

員同士で「共有」すること。いい保育の実践につながる、子どもの豊かな育ちを保障すると結ばれました。次にオール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業の説明で、保育部会永野治男部会長からの協力のお願いと地域貢献推進委員会の熊井茂治委員長による詳細説明が行われ、大阪府社会福祉協議会・社会貢献推進室の梅木誠室長からは老人福祉施設における社会貢献



楽しみながらも白熱した試合

事業（生活困窮者レスキュー事業）10年間の実践の報告がありました。11月30日には、職員バレーボール大会が開催され

泉州

秋の京都を満喫 情報交換も盛んに

泉州民間保育士会では、11月18日に、1日研修として、2台のバスに98人が分乗し、晩秋の京都を訪れました。

交通渋滞に巻き込まれることもなく予定より少し早く京都御所に到着しました。宮内庁の職員の案内で詳しい説明を聞きました。

歴史を感じる建物や、庭の壮大さとともに、秘めた雅に感動しました。普段は訪れる機会が少ない京都御

所内部を観ることで、ひとつ自分の中の引き出しが増えたように感じました。その後、鴨川畔に佇む「鰯鶴京都鴨川リゾート」に。

ここは、140年の歴史のある五層楼閣の純和風建築で、元は老舗料亭旅館だったそうです。結婚式場も備わり、古風ながらモダンなインテリアに囲まれたレストランで、美味しいフレンチをいただきました。

自由散策では、清水寺に参拝に行く方や、三年坂や二年坂でお土産を買い求める方、人力車に乗って高台寺周辺を散策し歴史を学ぶ方など、思い思いの京都を楽しみました。

車中や食事の時には、他の保育園の方々と情報交換・意見交換をさせていただくこともでき、有意義な1日研修でした。

日常の保育から離れ、ゆったりとした気持ちでリフレッシュすることができ、園に残っている先生方に感謝しつつ、また明日からの保育の活力にしていこうと思いました。

（アルン西鳥取夢学舎

M・K



さんぽ

介護保険事業、保育事業に企業参加が認められて、社会福祉法人が行う介護保険事業、保育事業は非課税で、企業が同じ事業を行うと課税になるのは、イコールフットイング論から考えておかしいということから、今、社会福祉法人への課税の議論があります。また、企業は利益を社会に還元する

今、社会貢献のあり方を 考えてみませんか

出しようとする団体を作り、推進しています。一度「ワンパーセントクラブ」のホームページを見てください。東証一部上場の、そうそうたる企業が参加しています。

費が入ってきて給料と経費を支払えばほとんど資金が残らず、ボーンスを払うのに苦労した時期もありましたが、今は、経営努力により、少しの資金を残せるようになってきました。

他方、私たち社会福祉法人は、活動自体は社会貢献事業といえますが、この事業には公費が入っているため、純然たる社会貢献事業とさえないところがあります。30年くらい前なら、公

元々民間社会福祉事業は、そこに困っている人がいるから手を差し伸べようということから発展してきた事業です。そこ以後から公費が入ってきたのです。社会福祉法人への課税を逃

堺ブロック

業を考え、地域に貢献し、地域の人々が施設に集い、施設が地域の人々に頼りにされるようになると投資した資金は、無駄にはなりません。

（くさべ保育園H・I）



秋の一般公開を利用して見学しました